

講義名	栄養学実習
開講学年	2 年
単位	1 単位

授業の達成目標	各ライフステージにおける一連の栄養管理のあり方と食事摂取基準に基づいた栄養管理の基本を実 習を通して修得する。
授業の概要	演習ではグループワークにて、ライフステージごとの栄養状態に応じた栄養ケアマネジメントが展開できるようにする。
授業形式	講義・演習及びグループ学習

授業計画表

回	項目	内容	キーワード・備考
1	妊娠期Ⅰ	授業の進め方・食事摂取基準の考え方を身に着ける。この科目の基本的要素を学び、妊娠期における栄養ケアプログラムの作成を行う。	食事摂取基準 献立作成 栄養ケアプラン
2	妊娠期Ⅱ	演習【献立作成】 妊娠期における献立作成を行う。	PC 使用 献立作成
3	乳児期Ⅰ (授乳期)	離乳の基本の説明。特に献立作成が行えるよう分量等の説明、時期に応じた食材選び等を学び、献立作成を行う。	献立作成
4	幼児期	アレルギー対応の仕方を学び、代替食をどのように作成していくかを学ぶ。また間食の必要性を理解させる。	間食 アレルギー
5	幼児期Ⅰ	前回学んだことをふまえ、アレルギー対応食及び間食の献立作成を行う。	PC 使用 献立作成
6	乳児期Ⅱ	調理実習 ・調乳指導 ・3 回目の授業で行った献立作成の中から選ばれたものを調理する。	調理実習
7	高齢期の栄養	摂食嚥下の基礎知識をみにつけ、高齢期における栄養ケアプログラムを作成する。	栄養ケアプログラム
8	幼児期Ⅱ	調理実習 ・間食 カルシウムを多く含む間食	調理実習

		アレルギー対応の間食	
9	スポーツ栄養	スポーツ選手における栄養管理とは スポーツ別の栄養管理について	PC 使用
10	スポーツ栄養	各個人で 1 つの競技のスポーツ栄養をパ ワーポイントにまとめていく。	PC 使用
11	スポーツ栄養	スポーツ栄養で調べた内容を発表。 その後議論が進む予定。	IT ルーム
12	まとめ	ライフステージ別の栄養について総復習 を行う。	

事前・事後学習の内容	授業前には各ライフステージにおける栄養管理の基本を予習し ておくこと。
成績評価の方法	授業の出欠と期末試験および提出物にて判定 ・授業評価は出席 回数が 2/3 無ければ、D 判定となり期末試験を受験できない。 ・ S ・ A ・ B ・ C ・ D で判定 (D は不合格) 【提出物及び実習 20 % 試験の成績 80 % で総合評価する】 (総合獲得点数 S : 90 点 以上 A : 80 ~ 89 点 B : 70 ~ 79 点 C : 60 ~ 69 D : 59 点以 下※不合格) ※D 評価の者は、教員が必要と判断した場合には再試験を行うこ とができる。
参考書	【ライフステージ 実習栄養学 医歯薬出版株式会社】
教材	【応用栄養学実習第 5 版 ライフステージ別の栄養管理 講談 社】 プリント